

令和2年10月14日

八戸市内ミニバスケットボール関係者様

八戸市バスケットボール協会
U12部会会長 三角浩司

スポーツ少年団ミニバスケットボール大会における感染予防対策について

日頃より八戸市バスケットボール協会U12部会へのご支援ご協力ありがとうございます。北村杯におきましても、皆様のご協力のおかげで安全に大会を行うことができました。心より感謝申し上げます。反省点をいかしてよりよい大会にしていきたいと思っております。

いよいよ大会が始まります。コロナ感染症については、今後も十分な対策が必要な状況です。JBAの「バスケットボール活動再開ガイドライン（手引き）」を元に、各チームでの下記の内容を参考にして対策をお願いします。また、インフルエンザ予防対策も必要になります。6年生の子どもたちにとって、最後の大会になります。大会開催ができるよう、安全で思い出に残る大会にしていけるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

スポーツ少年団ミニバスケットボール大会 感染症対策について

＜「JBAバスケットボール活動再開ガイドライン（手引き）第2版 2020年9月10日作成」より＞

- ・感染症対策「3つの密を避ける」「外部や多くの人数での接触の回避」「マスク、手洗い、消毒、咳エチケット」等、これまでの対策や配慮を継続する。
- ・「集団感染（クラスター）・感染拡大を起こさないこと」と「誹謗中傷を生み出さないこと」
- ・各チームでの「感染対策責任者」の設置
感染対策責任者：緊急連絡体制の構築・保健所との連絡、感染の未然防止・健康チェック
- ・体調不良の際には、「積極的に休むこと」
- ・チーム内での体調不良者、陽性者、濃厚接触者が出た場合の対応「48時間以内の活動の有無」
- ・大会中止に至る状況「感染拡大の懸念」「不可抗力による不参加」「辞退10%以上」など

＜今大会の配慮事項として＞

- ・八戸市バスケットボール協会 U12 部会感染予防対策について(R2.6.30)をもとに、換気や手洗い、消毒等、予防対策を講じる
- ・参加者については、密を避けるために、ベンチ入り選手・指導者等20名以内、応援者・保護者等20名以内とする
- ・ハーフタイムの練習は行わず、試合終了後に試合をしたチームは会場を出て、消毒や換気後に次のチームが会場に入り練習を行う。（1試合80分での運営）
- ・大会2週間前からJBAからの「健康チェックシート」を記入し、当日会場で提出する
- ・各チームで保護者からの参加同意書をとる など

＜大会運営上の主な確認事項より＞

- ・審判員E級の場合は、審判講習会を受けることでチームの帯同審判と認める。
- ・帯同審判員がない場合には、審判協力費を支払う。
- ・県大会（12月26日・27日）には、男女代表各1チームの出場
- ・観客のインテグリティについて「暴力・暴言根絶」

＜感染症発生に関わる対応、大会の中止について＞

- ・感染症の状況によって、大会前や大会中の急遽の中止もありえる
*八戸市の感染症対策本部から対応方針が出された時、体育館等の使用ができない時
コロナ感染症による参加辞退が10%以上になった時には中止を検討する
- ・大会前に感染者が確認された場合には、保健所、市教委、JBAの対応に従う
- ・休校中の学校の選手、学級や学年閉鎖の場合の当該学級学年の選手は、出場不可とする